

2022/10/15 (Sat) ▶ 11/13 (Sun)

2. (2) 検証結果 (エリア回遊創出・連携)

取組① 御堂筋の滞在空間本格整備 ～回遊が広がったか？～

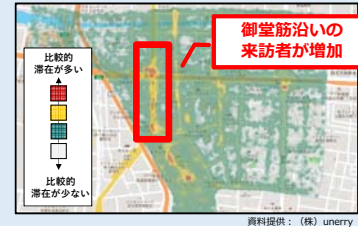
○御堂筋上滞在空間整備



通行者が増えたか？

- ・チャレンジ期間中、御堂筋の通行者数が増加
- ・なんば駅から御堂筋沿いの通行者が増加

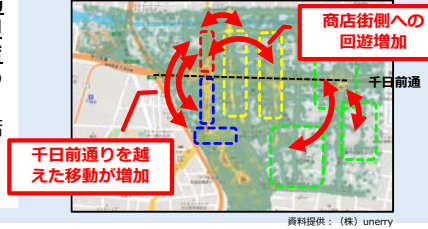
▼期間中滞在者分布 (携帯GPSデータ)



御堂筋から周辺への回遊が広がったか、どこに広がったか？

- ・なんば駅から御堂筋への動きに加え、御堂筋から戎橋筋商店街・千日前商店街の回遊が増加
- ・道頓堀と戎橋筋商店街の回遊も増

▼回遊パターン変化分析結果 (携帯GPSデータ)



●整備により通行者、周辺エリアへの回遊を促進
⇒滞在空間整備や東西連携は、回遊を促す上で効果的

今後の方向

- ① 滞在空間整備
✓ 駅前広場・御堂筋の効果的
空間活用
- ② 御堂筋よこみち連携
✓ よこみちのポテンシャルを活かす連携
取組の強化
✓ 地域の課題と連動させた展開

取組② 東西道路での取り組み (南地中筋・カフェストリート) ～東西の動きが創出されたか？～

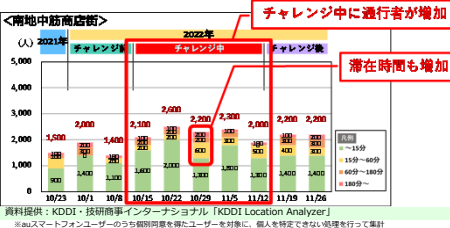
○東西道路のイベント・空間活用



東西道路の通行が増えたか？

- ・実験前に比べて通行者数・滞在時間が増加傾向

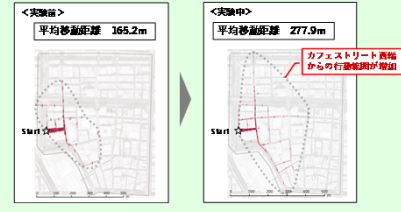
▼南地中筋の来訪者数の変化 (携帯GPSデータ)



滞在や回遊の広がりがあったか？

- ・期間中、店や情報を見る行為、会話等が増加
- ・来訪者の移動距離の増加もみられた

▼カフェストリート通行者行動範囲の変化 (現地調査)



●東西への流れを促進し、立ち寄り等も誘発
⇒エリア回遊には、東西との連携が重要

取組③ エリア回遊施策 (リパフェス・デジタルスタンプラリー) ～エリアの動きは広がったか？～

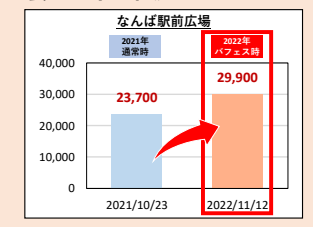
○エリア回遊イベントの実施



道頓堀リパーフェスティバルで回遊がされたか？

- ・なんば駅前広場を中心に、イベントエリアの来訪者が増加
- ・特に、遠方からの来訪者が増加
- ・スタンプラリーも周辺各箇所の回遊を促進

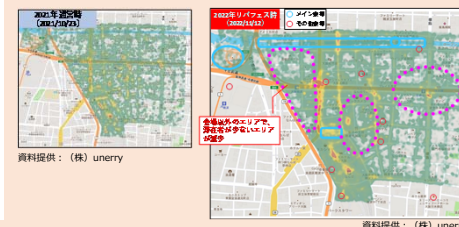
▼会場の来訪状況変化 (携帯GPSデータ)



エリアをまたいだ回遊は広がったか？

- ・エリア全体でも滞在者・滞在時間が増加
- ・普段滞在者が少ないエリアへの回遊を促進

▼周辺エリアの滞在状況の変化 (携帯GPSデータ)



●イベントで、来訪者・滞在時間が拡大
⇒分散型イベントで、周辺エリアも含めた活性化可能

取組④ ネットワークの現状・課題把握 ～エリア全体で動きを作るための、課題・ポテンシャルは？～

○ネットワーク分析



全体の利用状況の把握

- ・歩行者は、御堂筋・戎橋筋に集まる
- ・東西通いや、東側に入ったエリアでは、通行者が少ない箇所が多い

▼各街路の通行者数



エリア全体のネットワーク課題の分析

- ・現在通行が多い箇所からの回遊を広げる上で、御堂筋東側よこみちや、千日前通、ウラなんば等がポイント

▼ネットワーク分析による課題箇所抽出



●御堂筋東側のよこみち等が、ポイント
⇒これを踏まえ、上記の各取組を戦略的に展開

- ④ 体制構築
✓ 地域・地元との連携強化、共創
✓ 官民学による検討体制づくり